

部門賞委員会

平成 19 年 3 月 8 日

部門賞委員会 第 84 期（平成 18 年度）活動報告

構成員：門出政則（委員長）、岡崎健（部門長）、西尾茂文（前部門長）、山田純（幹事）

1. 委員会の開催

第 1 回部門賞委員会

日時：平成 18 年 5 月 18 日（木）13:00～14:00

場所：東京大学工学部 2 号館 3 階 310 号室（教官小会議室）

議事：委員会の年間予定の確認

第 2 回部門賞委員会

日時：平成 18 年 7 月 28 日（金）13:00～14:00

場所：東京大学工学部 2 号館 3 階 310 号室（教官小会議室）

議事：フェロー候補者の選考. 10 名を選出（9 月 28 日に 8 名を学会本部へ推薦した）

第 3 回部門賞委員会（予定）

日時：平成 18 年 10 月 27 日（金）13:00～14:00

場所：芝浦工業大学交流棟 5 階小会議室

議事：部門賞・部門一般表彰候補者の選考

第 4 回部門賞委員会

日時：平成 19 年 1 月 25 日（木）13:00～14:00

場所：芝浦工業大学研究棟 5 階小会議室

議事：部門賞・部門一般表彰候補者の決定

2. フェロー候補者の推薦（学会締切 9 月 29 日）

- (1) 前期（83 期）の候補者を踏まえて、委員長と幹事は 42 名（83 期は 37 名、82 期は 24 余名）の候補者をリストアップし、候補者約 42 名のリスト（各候補者の経歴と活動内容（賞、学会・部門役職経歴など）および推薦理由）を作成（7 月 4 日、83 期は 6 月 24 日）
- (2) 幹事は、委員長名で、そのリストを（幹事を除く）3 名の部門賞委員会委員に送り、委員には、“そのリストからあるいはリスト外から委員推薦の候補者を加えて、10 名を選び、幹事あてに投票するように”要請（7 月 4 日、83 期は 6 月 24 日）
- (3) 第 2 回部門賞委員会で、10 名（前期は 13 名）を第 1 次候補者（部門賞委員会案）として、総務委員会に諮った。（7 月 28 日）
- (4) 幹事は、委員長名で、総務委員会で同意が得られた第 1 次候補者に、部門推薦の候補者となるように依頼（候補者に推薦書を書いていただく）（8 月 10 日）
- (5) 幹事は、部門長名で、学会に部門推薦の候補者を推薦。推薦書を取り纏めて学会に送付（9 月 28 日）

* 上記(2)、(3)で 10 という数字は、次の理由による。これまで、82 期では 12 名、83 期では、13 名の推薦を行ったが、候補者に若い人が多くなっており、「学会への貢献ポイント」が足りず、フェローになれないケースがでていた。今回は、候補者の数を絞って推薦することにし、最大でも 10 名とした。既に、昨年度支部推薦でフェローとなった 1 名、辞退者 1 名を除く 8 名を候補者として、学会に推薦。

* 最終的には、3 月末の評議会において決定される（前期は 5 名が選出）

3. 部門賞、部門一般表彰（貢献表彰）候補者の推薦

- (1) 運営委員会構成員に候補者募集のメール送付、学会ホームページに候補者募集の掲示（9 月 4 日、前期は 8 月中旬）、締切 9 月 29 日。
- (2) 第 3 回部門賞委員会で候補者の策定
- (3) 第 4 回部門賞委員会で部門推薦の候補者を決定。第 4 回総務委員会（1 月 25 日）に附議・承認
- (4) 候補者に受諾の意思確認（部門賞委員会委員長により主に電話で）
- (5) 幹事は、候補者に推薦書の確認および HP 用写真の送付を依頼（2 月 22 日、前期は 1 月

28日)

- (6) 運営委員会に、代行運営委員会(メール審議)として附議(3月5日, 前期は2月20日)・承認(3月12日, 前期は2月28日)。学会理事会に報告と同時にHP公表、2007年11月の熱工学コンファレンス(京都)で贈賞の予定

*第4回総務委員会(1月25日)で、貢献表彰3名が承認されたが、その後の調査で、一名が既に機械学会を退会していることが判明したため、最終的には2名が承認された。

4. 部門一般表彰(講演論文表彰)候補者の推薦

- (1) 年次大会(熊本)および熱工学コンファレンス(慶応)の委員会に推薦を依頼(正式には、それぞれ、7月30日, 8月18. 内々には、6月頃依頼)

- (2) 第4回部門賞委員会において、推薦のあった講演論文表彰候補(年次大会委員会から2件, 熱工学コンファレンスから2件)を審議・承認

- (3) 候補者に受諾の意思確認

- (4) 幹事は、候補者に推薦書の確認を依頼(2月22日, 前期は1月28日)

- (5) 運営委員会に、代行運営委員会(メール審議)として附議(3月5日, 前期は2月20日)・承認(3月12日, 前期は2月28日)。学会理事会に報告と同時にHP公表、2007年11月の熱工学コンファレンス(京都)で贈賞の予定

5. フェロー賞候補者の推薦

- (1) 年次大会(熊本)および熱工学コンファレンス(慶応大)の委員会に推薦を依頼(正式には、それぞれ、7月30日, 8月18. 内々には、6月頃依頼)

- (2) 第4回部門賞委員会において、推薦のあったフェロー賞候補者(年次大会委員会から2件, 熱工学コンファレンス委員会から1件)を審議・承認。推薦書を学会へ送付(2月21日)

6. 部門賞・部門一般表彰・フェロー賞

[部門賞]

永年功績賞	藤田恭伸(九州大学名誉教授)
永年功績賞	林勇二郎(金沢大学)
国際功績賞	望月貞成(東京農工大学)
研究功績賞	牧野俊郎(京都大学)
技術功績賞	蛭子 毅(ダイキン工業(株))
業績賞	佐藤 勲(東京工業大学)

[部門一般表彰]

貢献表彰	花村克悟(東京工業大学)
貢献表彰	宗像鉄雄(産業技術総合研究所)
講演論文表彰	【年次大会】

Miki Shimogori(下郡三紀), Hidehisa Yoshizako, Yoshio Shimogori (バブコック日立株式会社):

Characteristics of Coal Ash Emissivity in High Temperature Atmospheres(高温場における石炭灰の放射率特性)

野田 進, 堀井庸児(豊橋技術科学大学):

レイノルズ応力モデルに基づく乱流噴流拡散火炎のモデル解析
【熱工学コンファレンス】

服部博文(名工大, 講演者), 森田昭生(名工大), 長野靖尚(名工大):

浮力乱流温度境界層DNSデータによる乱流モデルの再構築

山田 純(芝浦工大, 講演者), 安 炳弘(芝浦工大), 有田悠一(芝浦工大), 三浦由将(資生堂), 高田定樹(資生堂):

空間分解反射光計測に基づく皮膚のふく射物性の推定

[フェロー賞]

梶内 丈史(大阪大学大学院): フィルム冷却の混合プロセスに着眼した高性能化に関する

研究、日本機械学会 2006 年度年次大会（熊本）

村上 雅（富山商船高等専門学校）：高レイリー数領域における水平流体層の乱流自然対流、
日本機械学会 2006 年度年次大会（熊本）

渋谷 祐介（早稲田大学大学院）：詳細な素反応過程を考慮した数値熱流体コードによるディーゼル燃焼の数値解析（EGR 条件下における検討）、熱工学コンファレンス
2005 講演会（慶応）